

Ⅲ しまねの食育の推進にあたっての目標と評価指標

1 目標の考え方

しまねの食育の推進の基本理念のもと、関係機関・団体等と連携を図りながら、地域全体でより効果的で実効性のある施策を展開するためには、具体的な共通の目標を掲げて、その目標達成を目指して取り組むことが必要です。

本計画においては、第二次計画の評価を踏まえ、（1）目標を達成しておらず引き続いで目指す目標（2）目標を達成しているが継続して一層推進していくべき目標（3）新たに重点的に取り組む必要がある目標を設定しました。

また、目標値については他の関連計画との整合性を図り、計画策定後も把握が可能なものを用い、施策の成果や達成度を評価します。

2 食育推進にあたっての目標

この目標は、県民一人一人が実践する目標であるとともに、食育に携わる関係機関・団体・行政の取組目標です。目標値の達成を目指して取組を進めていきますが、安易に目標値の達成のみにとらわれず、基本理念のもと地域全体で食育を推進していきます。

（目標1）朝食を毎日きちんと食べる

指 標		現状値	目標値	現状値データ根拠
幼児の欠食者の割合	1.6歳児	% 2.5 4.2	0	島根県母子保健集計システムより 現状値：H27年度 目標値：すこやか親子計画にあわせる。
	3歳児		0	
児童、生徒の欠食者の割合	小5（男）	% 4.4 2.7 8.6 9.4 14.0 14.7	0	しまねっ子元気プラン第二次（H26年度～H30年度） 現状値：H24年度児童生徒の運動能力調査 (保健体育課) 目標値：H30年度
	小5（女）		0	
	中2（男）		5.0	
	中2（女）		5.0	
	高2（男）		10.0	
	高2（女）		10.0	
成人の欠食者の割合	20歳代（男）	% 33.8 31.5 33.3 13.3	30%以下	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） <「週2～3日食べない」「週4～5日食べない」 「ほとんど食べない」の合計>の割合 目標値：第二次計画時の目標を達成していないことを踏まえ、改善傾向であった20歳代男性はH22年度調査から現状値までの変化率を参考に設定。また、増加傾向だった20歳代女性と30歳代男女については、二次計画の目標設定時の減少割合をめざし目標設定。
	20歳代（女）		20%以下	
	30歳代（男）		20%以下	
	30歳代（女）		10%以下	

（目標2）野菜をしっかり食べ、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする

指 標		現状値	目標値	現状値データ根拠
野菜料理を5皿以上食べている人の割合	男	% 2.7 6.2	4.0	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） 目標値：主食、主菜、副菜の中でも特に副菜（野菜料理）の摂取が少ない傾向にあるため、新たに目標を設定。 H22年度調査（前回調査）からH28年度調査までの変化率を用いて設定。
	女		8.0	

(目標3) 減塩に気をつけた食生活を実践する

指標			現状値	目標値	現状値データ根拠
日常生活で塩分をとりすぎないよう気に気をつけている人の割合	男	%	24.5	増やす	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） ＜いつも気をつけている＞
	女		37.0	増やす	目標値：新たに指標を設定。比較データがないため、まずは増加を目標とする。
濃い味付けを好んで食べる人の割合	男	%	38.6	減らす	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） ＜好んで食べる「はい」＞
	女		22.7	減らす	目標値：新たに指標を設定。比較データがないため、まずは減少を目標とする。

(目標4) ゆっくりよく噛んで食べる

指標			現状値	目標値	現状値データ根拠
たいていの食べ物は噛んで食べられる者の割合	%	88.5	88.5 (維持)	「第2次島根県歯と口腔の健康づくり計画」 (H29年度～H34年度) 現状値：県民残存歯調査（H27） 60歳（55～64歳）の割合 目標値：新たに指標を設定。前回調査と比べ減少傾向にあることから現状維持を目指す。	
3歳児の不正咬合等認められる児の割合	%	20.7	20.7 (維持)	「第2次島根県歯と口腔の健康づくり計画」 (H29年度～H34年度) 現状値：島根県母子保健集計システム（H27） 目標値：新たに指標を設定。近年増加傾向にありこれ以上増やさないことを目指す。	

(目標5) 学校や地域における地場産物の使用を推進する

指標			現状値	目標値	現状値データ根拠
学校給食における県内産食材の活用割合	%	51.0	63	「島根県地産地消促進計画」(H27年度～H31年度) 現状値：H25年度学校給食の食材仕入れ状況等調査 目標値：H31年度	
地産地消に積極的に取組む食品量販店舗数	店舗	0	50	「島根県地産地消促進計画」(H27年度～H31年度) 県産品を扱う専門コーナーの常設など、県が認証した地産地消に積極的に取組む食品量販店舗数 現状値：H26年度 目標値：H31年度	

(目標6) 食に関する体験の場を増やす

指標			現状値	目標値	現状値データ根拠
関係機関・団体における食育体験活動の回数	回	13,860	(増やす)	食育・食の安全推進協議会構成団体からの実績報告 ＊食生活改善推進協議会は活動記録から 現状値：H27年度	

(目標7) 食品衛生知識の着実な普及を図る

指標			現状値	目標値	現状値データ根拠
テレビスポット等配信数	数	67	70	「食の安全安心確保に係るアクションプラン」(第4期) 現状値：H26年度	
講習会等参加者数	人	1,588	1,600		

(目標8) 家族や友人などと食卓を囲む

指標	現状値	目標値	現状値データ根拠
週に一度は家族そろって食卓を囲む人の割合	男 % 77.3	増やす	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） 週に一度は家族そろって食卓を囲む「はい」の割合 目標値：第二次計画では指標を設定していないが、新たに指標を設定。比較データがないため、増加を目標とする。
	女 % 82.4		
食事をともにする家族や友人がいる人の割合	男 % 87.1	増やす	現状値：H28年度島根県健康調査（健康推進課） 「食事をともにする家族や友人がいる」の割合 目標値：第二次計画では指標を設定していないが、新たに指標を設定。H22年度調査結果と比較すると、2%未満の増加で微増であったため「増やす」を目標とした。
	女 % 90.9		

IV しまねの食育の推進施策

1 重点施策

- ①生涯にわたる食育を推進し、特に若い世代（高校生、大学生、子育て中の親世代を含む20～30歳代）への食育が進むよう努めます。
- ②県民の身近なところで、食に関する「おいしい・たのしい・ためになる」体験の場づくりを推進します。
- ③食育活動への県民の主体的な参加や、関係団体の連携・協力などによって形成される地域力を生かし、多様な暮らしに対応し、また環境にも配慮した食育の充実に努めます。

2 個別の施策

（1）家庭における食育の推進

- ・一日の始まりである朝食をしっかりと食べることは、生活リズムを整え、健全な食習慣につながります。
- ・早起き、バランスのとれた朝食摂取、適度な運動、十分な睡眠、歯と口腔のケア等を生活習慣として定着させるためには、家庭への働きかけが重要です。
- ・生活リズムの改善や、望ましい食習慣の確立のため、家族ぐるみで食に関する理解を深め、意識の向上を図る等家庭における食育の実践を支援する取組を推進します。
- ・育児（未就学児）をしている女性の有業率は全国で最も高く、その上、育児をしている共働き世帯での家事分担の比重が女性の方が重い状況にあります。そのため、ワーク・ライフ・バランスを推進し、子育て支援や男性の育児参加を促し、家庭での食育を推進するための環境づくりを支援します。

① 子どもの基本的な生活リズムと望ましい食習慣の形成を図る

- ・起床、就寝、食事、遊びや運動、メディア接触、歯と口腔の健康づくりについて、ライフステージに沿った保健指導や情報提供を行います。
- ・保育所、幼稚園、学校、地域の関係団体等が連携し、楽しく気軽に学べる体験学習や活動の機会を設けます。
- ・家族が食卓を囲んでともに食事をとることで、食べる楽しさをともに体験し、家族